

●この説明書は必ず施工される方にお渡しください。

■施工される方へのお願い

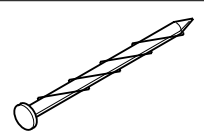
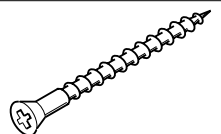
●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 本製品は複層ガラスを使用するため、かなりの重量(最大230kg、ガラスなしで50kg)がかかります。障子の外れ、倒れなどで思わぬケガをしたり、漏水の原因になるおそれがありますので下記事項をお守りください。
 - ・施工は、重量に見合った人数で行ってください。
 - ・枠をスクリーナ釘・木ねじで固定した後、ガラスを入れてください。
- ※化粧額縁は取付けることができません。
 - ・窓台は、45×105mm以上、窓台下の間柱は柱の2つ割り又は3つ割り材を使用してください。
 - ・開口部の水平・垂直及び取付け面の平面を正確に出して取付けてください。
 - ・開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度にしてください。
- 下記事項は漏水の原因になるおそれがありますのでお守りください。
 - ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合わせ部に防水テープ(別売り)を張ってください。
 - ・外壁施工後、枠の取合わせ部には必ずシーリングをしてください。

■取付けねじ一覧表

記号	①	②
姿図・名称		
	スクリュー釘φ3×38	皿木ねじφ3.8×38
使用箇所	上枠(室外側)ーまぐさ 下枠(室外側)ー窓台 縦枠(室外側)ー躯体	上枠(室内側)ーまぐさ 下枠(室内側)ー窓台 縦枠(室内側)ー躯体

■取付け順序

1 開口部の確認

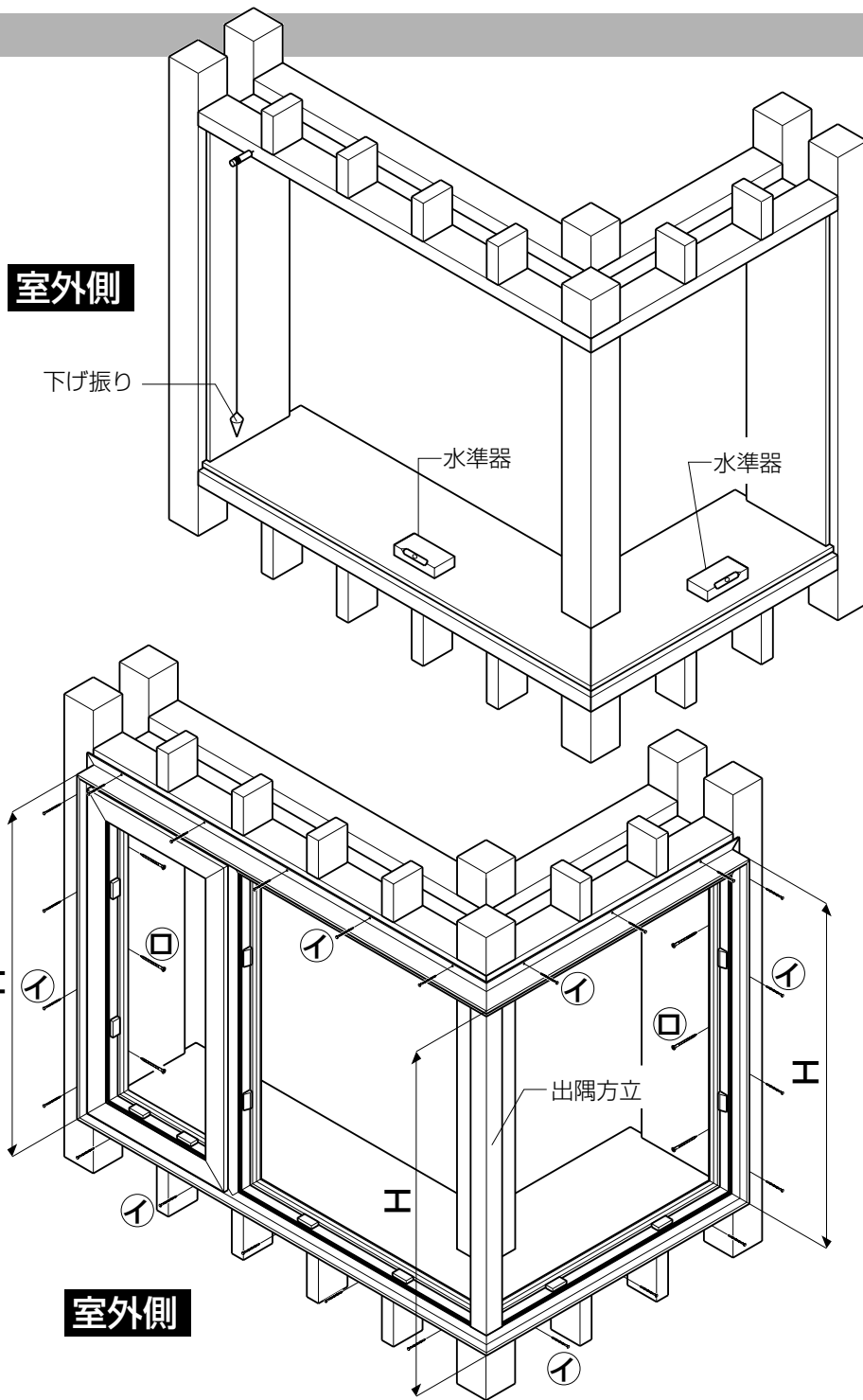
①水平・垂直を確認し、開口部を作成します。

▲注意

- 窓台は、45×105mm以上、窓台下の間柱は柱の2つ割り又は3つ割り材を使用してください。
- 開口部の水平・垂直及び取付け面の平面を正確に出してください。
- 開口部を付け枠などでふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度にしてください。

2 躯体への取付け

- ①枠を窓台にのせ、仮止めします。
- ②左右縦枠の垂直と下枠の水平を出します。
- ③出隅方立の垂直を確認後、枠全体を固定します。

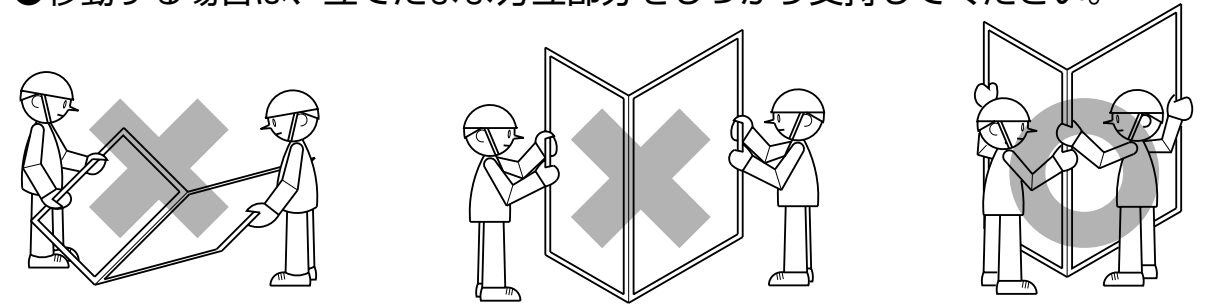


■施工上のお願

- 樹脂の表面は傷つきやすいので、ぶつけたり、こすったりしないでください。
- 樹脂部材をねじ止めする場合は、締めすぎないでください。樹脂が割れたり、ねじが貫通するおそれがあります。
- この製品は樹脂で作られていますので、ストーブなどの熱源の近くに置かないでください。
- 反り防止のため、樹脂形材が直射日光に当たる場所で保管しないでください。
- 樹脂サッシの性能を生かすため、上・下躯体部に断熱処理をしてください。
- 天板・テーブル板・屋根・コーキング材は、別途用意してください。
- コーキング材はシリコン系・ウレタン系が使用できます。ポリサルファイト系はサッシが変色するおそれがありますので、使用しないでください。なお、サッシとの接着性を高めるために、必ず指定のプライマーを使用してください。
- 開きタイプ開口部の両端には網戸ガイドレールがつかますので、網戸を取付ける時は、両端を必ず26mm以上あけてください。
- ロール網戸の取付けは、網戸取付け説明書をご覧ください。
- ※清掃が必要な場合には、ノルマルヘキサンを使用してください。それ以外の有機溶剤は使用しないでください。サッシが変色するおそれがあります。

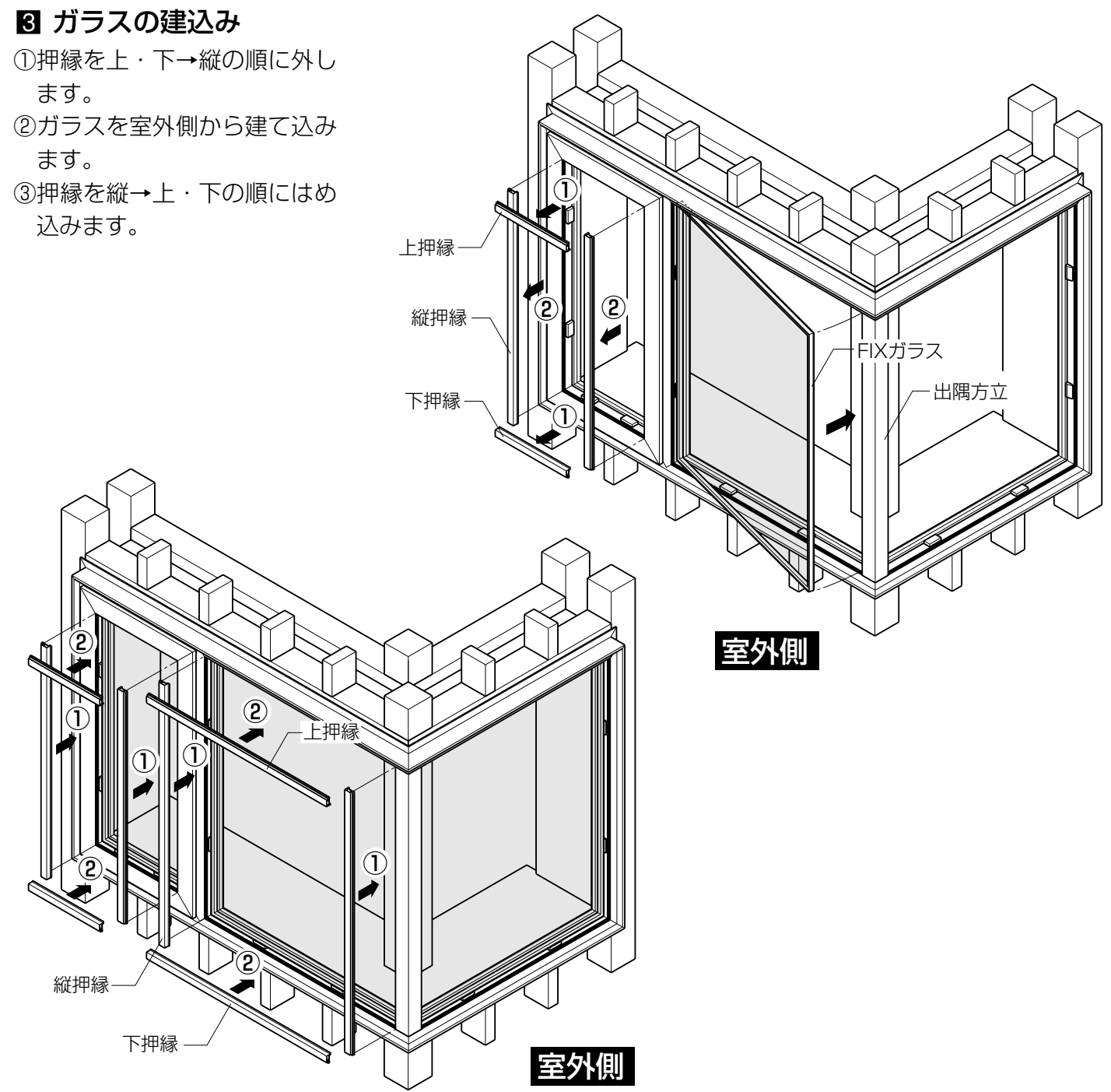
■組立て後の取扱いとお願い

- 枠を横にして持ったり、枠連結部に無理な力をかけたりしないでください。溶接部が割れるおそれがあります。
- 移動する場合は、立てたまま方立部分をしっかりと支持してください。



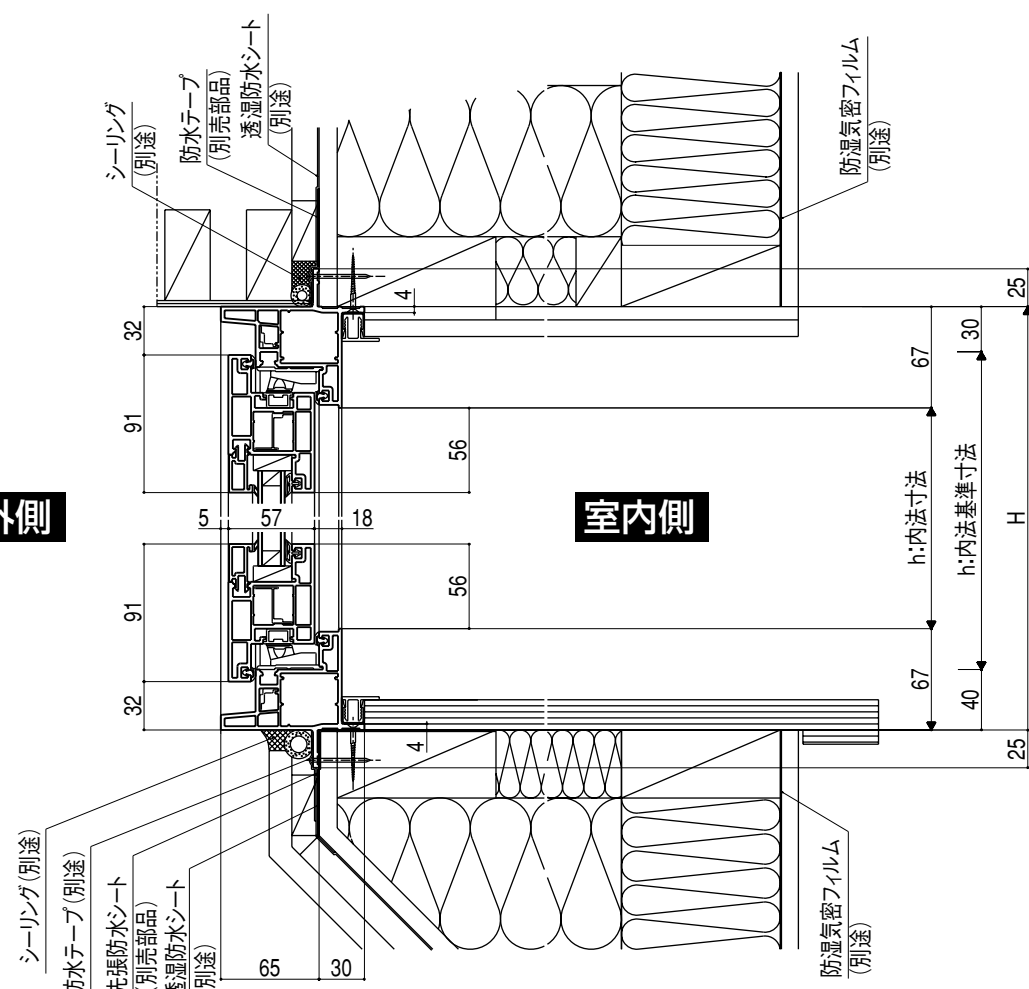
3 ガラスの建込み

- ①押縁を上・下→縦の順に外します。
- ②ガラスを室外側から建て込みます。
- ③押縁を縦→上・下の順にはめ込みます。



■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

